



〒915-0823
福井県越前市本町10-2
親縁山 大寶寺
TEL/FAX (0778) 22-1682

十夜法要のご案内

11月14日(火)・15日(水)

秋のお彼岸も過ぎ夜がめつきり長くなるとともに朝夕は寒さを感じる今日この頃、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

さて来る11月14・15日、例年のごとく当山にて十夜法要を勤めますのでご案内いたします。

十夜法要は浄土宗では大切な法要のひとつで、全国の浄土宗の寺院で勤められます。

観無量寿經に「この土において善をなすこと十日十夜なれば、他方諸仏国土において善をなすこと千歳に勝る」とあることが由来ですが、現在では、数日、あるいは一日でお勤めすることがほとんどです。当山では二日間のお勤めとなります。

戦前は、この時期に合わせて武生の町では恵比寿講とよばれる大売出しが行われ、冬支度の買い物をかねた大勢の参詣者がお寺にお参りしました。

大寶寺でも夜通し法要が勤まる間、有りつたけの寝具を持ち出して、老若男女が本堂で雑魚寝をしたそうです。

14日の夜の法要後、身体にいい「あずきがゆ」がふるまわれます。また、庫裏には掘り炬燵が準備してあるますので、みなさまお誘いあわせて、

大寶寺 十夜法要日程

- 十一月十四日(火)
 - 午後二時 開白法要
 - ” 三時 説教
 - ” 夜七時 初夜法要
 - ” 八時 説教
 - ” 十時あずきがゆ接待
 - 十一月十五日(水)
 - 午前十時 日中法要
 - ” 十一時 説教
 - 昼食 終了
- 布教師 河野赤菘
清水涼裕上人

第37回大寶寺おてつぎ信行奉仕団

10月17、18日の両日総本山知恩院のおてつぎ信行奉仕に参加しました。今年は、本山の都合で秋に実施したこともあって大寶寺の参加人数は17名とやや少なめでしたが、若狭の浄国寺、広島のア楽寺さんの同行と共に信行奉仕を勤めました。二日も好天に恵まれ、薬師寺や忍者屋敷を訪れるなど日頃の喧噪を離れゆったりとした二日間を過ごすことができました。



お稚児さんお練り行列参加のお勧め

従前よりご案内のように平成19年4月15日(日)の大寶寺二十六世晋山式に続く午後の元祖法然上人八百年お待ち受け法要の際にお稚児さんのお練り行列が出ます。

めったにない機会です。お檀家の家族だけでなく、ご近所またご親戚のお子さまなど、お誘いいただきましてご参加下さい。

参加費用は標準の衣装が8,000円、大紋・蝶は10,000円です。別紙の申込用紙とともにお金を添えて来年1月末までに直接寺に。もしくは世話方を通してお申し込み下さい。詳細につきましては大寶寺にお問い合わせ下さい。

申込〆切 平成19年1月末日



左の写真は平成15年7月南越前町宇津尾の延命地藏尊ご開帳の時の稚児行列です。

トピックス

秋彼岸法要

9月23日(土)

秋の彼岸の法要をお中日の23日の午後にお勤めしました。好天に恵まれ大勢の方がお墓参りに訪れました。また、21日と23日の夕方には、それぞれ法林寺、浄土寺でもお彼岸のお勤めをしました。

総代会

9月26日

企画委員会

10月20日

これら会議で、来年4月15日に執り行われる晋山式ならびに元祖法然上人八百年お待ち受け法要について検討をして頂きました。

その結果、財務・式典・稚児委員会・祝宴など総勢80余名からなる実行委員会を組織することになりました。該当の方々にはすでにご案内をいたしておりましたが、円滑な実行のためご協力を賜りますようお願い致します。

おつぎ運動40周年記念式典

10月9日(日)

総本山知恩院にて昭和41年から始まった「おつぎ運動」が40年を迎えるのを記念して見出しの行事が実施され、大寶寺からは6名の方が参加しました。

午前と午後に行われた大別時では御影堂(知恩院の本堂)に、お念仏の音が響き渡りました。また、午後3時半より講話師の一龍斎貞花師匠により「法然上人一代記」という題で講演がありました。

御礼とお願い

晋山式ならびに八百年大遠忌 お待ち受け法要の表賀について

8月に見出しのことにつきまして、表賀をお願ひ致しましたところ11月1日現在86名の方からご厚志を賜りました。この場を借りて厚く御礼を申しあげます。

引き続き支援をお願い致したく存じます。できれば本年中に、寺・もしくは世話方に持参して頂くなどしてご協力頂きますようお願いいたします。

総代・世話人一同

ご案内

雪囲い・雪吊り(小雨決行)

11月23日 8時半より14時頃まで

例年のごとく庫裏および式台の雪囲いと境内の雪吊りを行います。

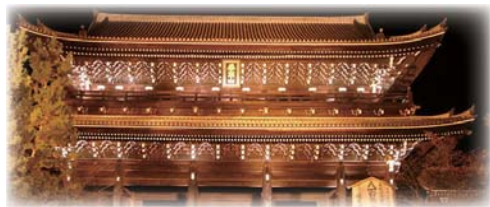
各地区のお世話方にはお手伝い頂ける方をご推薦頂きますようお願い致します。また、庭仕事など得意な方などお手伝い頂ける方がおられましたら寺までお電話下さい。昼食を準備します。

訂正

9月に配布いたしました。お稚児さん申込書の中で、標準と大紋・蝶の料金が間違っていました。正しくは大紋・蝶が一万円、標準が八千円です。お詫びして訂正致します。

今回正しい料金の申込書を再配布致しますので、こちらを使って申込んだければ幸いです。

知恩院ライトアップ2006 三門コンサートのご案内



東山三十六峰の山麓に堂々たる姿を佇ませる国宝御影堂を中心に、国宝三門や、友禅染ゆかりの宮崎友禅翁が祀られている友禅苑、京都市指定名勝の方丈庭園が織りなす華麗で優雅な世界を照らし出します。

- 場所：三門、御影堂、友禅苑、方丈庭園 (三門はライトアップのみ)
- 期間：平成18年11月10日(金)～12月2日(土)
- 時間：午後5:30～午後9:00(受付終了)
- 料金：大人800円 小人(小中学生)400円

また、この期間三門ではサクソやピアノまた、中国琵琶などのコンサートがあります。

詳しくは以下のサイトをご覧ください。
<http://www.chion-in.or.jp/lightup2006/index.html>
<http://www.chion-in.or.jp/lightup2006/info.html#event>

科学的であること

一般的に今の日本では、科学的にもごとをとらえることは良いことで、そうでないことは良くないこととされている。しかし、科学的であることはなかなか難しい。インフラボンは大豆に含まれ骨粗鬆症や更年期障害を防ぐ働きがあると注目されている。ところが、納豆や豆腐など食品から摂取する分には問題ないが、カプセル剤や錠剤などで成分を抽出したものを過剰に摂取するとホルモンのバランスが崩れ健康障害をおこすことがあるそうだ。

インフラボンに限らずさまざまな奇妙な響きのカタカナの化学成分を含む食品やサプリメントが新聞や雑誌の広告、あるいはテレビの健康番組にあふれている。しかし、提供者、すなわちそれらを製造、販売して利益を得ようとする人々の都合でそこに持ち出される科学の知識は断片的で偏ったものになりがちだ。

しかも、高度に進歩した現代科学の知識の多くは我々一般人には理解することが困難なものが多い。結局、素人は科学者や医療関係者などの専門家のご託宣を信ずるしかない。

また、日進月歩の科学の世界においては過去に正しいとされたことが、現代で否定、もしくは修正されることはめずらしくない。つまり、専門家の科学的見識が未来永劫に渡って絶対に正しいという保証はないわけだ。

科学的であろうとすること自体は大切な心がけではあるが、それだけで幸せが保証されるとは思われない。そのあたりに、宗教が時代を超えて果たすべき役割があるのではなかるうか。